

若手教師の視点と知見を最大化する組織の意思決定プロセスの構築と教員研修改革

【代表者】 香川 奈緒美 島根大学 教育学部 准教授

【共同研究者】 深見 俊崇 島根大学 教育学部 教授
高橋 泰道 島根県立大学・島根県立大学短期大学部
人間文化学部保育教育学科 教授

【研究の目的と内容】

年功序列の文化を踏襲する日本の教師集団の関係性において、初任者・若手教師がベテラン教師と同等に発言し、組織の意思決定に参加し、その能力を同等に発揮することは相当困難である。そのため、年齢や教職年数に関わらず、個々の意見が同等に重要な意見として扱われるためのしくみづくりが不可欠である。そこで、本研究は、これまでほとんど研究されてこなかった初任者・若手教師の教師組織全体への参画度についての詳細データの収集と分析を行うことにより、職場におけるコミュニケーション環境の現状を明らかにし、コミュニケーション環境改善のための策を検討する。

【研究の成果（本研究によって得られた知見、成果、論文、学会発表、外部資金への応募見込み等）

本研究について、現在まだ調査検討中のため、現時点での研究成果のHP上での公開は差し控えたい。

※本研究について興味のある方がいらっしゃいましたら、直接代表者まで連絡下さい。